『新年のご挨拶』

直前理事長　長瀬　雄一郎

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。昨年度は、皆様に大変なご厚意を頂きまして誠に有難うございました。本年は直前理事長として、笹川理事長を支えて参ります。

二〇二一年は、これまでの価値観を見直し、新たな出発の年となることと思います。昨年は、流行病の為、混乱と戸惑いの多い年でしたが、その中で培われた力を本年は存分に活かし、飛躍をするであろうと期待をしています。昭島青年経営者団体です。多摩の手経営者クラブは五十七年続く若島に生まれ承継されてきたことには理由があります。歴史ある当クラブの理事の一人として気を引き締めて、一路邁進して参りたいと思っております。

本年度は笹川理事長の掲げる〝ローカルに全力で活動しましょう〟を胸に、〝逆境を結びにならぬよう〟指導してまいります。本年も変わらぬご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。年初のご挨拶とさせて頂きます。

『新年のご挨拶』

副理事長　相羽　吉春

私が入会したのは二〇一七年の夏でした。その当時、最初に教わった事はAIJは失敗しても直接的には本業に損失を出さない。自分を試せる最高な場所だ。だからこそ、どんどんチャレンジしな！という言葉を鵜呑みにしたのです。私は、様々な失態も重ねながらも、現役会員、卒業していった先輩方や、各例会などでお会いする度に色々と教えて下さる先輩方からAIJでなければ味わう事の出来ないよう様々な事を学ばせて頂きました。今年の役割は今年度は昨年から続く、まさに逆境の時期だと思います。このような時こそ、五七年続く当会を存分に利用させていただき新たなる積み、笹川理事長の下、皆様よりこのAIJを通じそれぞれの立場で夢中になり、失敗を恐れず逆境に打ち勝つ礎を手に入れる一年にしましょう。どうぞ今年もよろしくお願い致します。

『新年のご挨拶』

副理事長　星野　智

新年あけましておめでとうございます。令和三年度の新年を迎えるのにあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げますと共に、皆様の益々のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。

本年度副理事長を務めさせて頂きます星野です。今年も昨年度と同様に広報宣会を担当させて頂きます。いよいよ笹川理事長のまとめ元二〇二一年度体制スタートとなります。

昨年度に引き続き副理事長というつかり、身が引き締まる思いで一杯です。昨年度はコロナ禍の影響で思うように活動が出来ませんでした。新型コロナの影響はまだ留まるところを知らず、やや拡大している状況にあります。同じ場所に長時間、大勢で集まることが難しい状況下であり、新年度のスローガンである〝逆境をカロに〟の旗印のもと宣員一丸になって取組めるよう邁進してまいります。

長をサポートし、例年と違ってまた鈴木宣長、服部編集長、一年間お届けさせて頂きます。皆様のご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

『新年あいさつ』

専務理事　青木　隆一

新年あけましておめでとう御座います。今年度の専務理事を務めます青木です。どうぞよろしくお願い申し上げます。昨年の次年度理事長発表の笹川理事長からお声を掛けて頂きました。私には無理だと逃げ込まれておりましたが遂に迫られました。腹を決めたのかと思ったら版を読まれました。専務理事の仕事が大変なのは知っておりましたが、今年のスローガンに〝逆境をカロに〟と掲げました。

JAをダブルパンチに負けずこれの頑張りを機に新規事業の柱を作り上げる勢いでもあります。コロナ禍の影響で売り上げが落ちたのと、消費税の影響で売り上げが落ちたのと、消費税の増税が重なり、給付金をウェブ開催で考えました。今年は材料購入の水の持ち寄りでみなさまに楽しみにしてお待ちください。陣頭指揮をとってまいります。